

【 有限会社 谷山機械製作所 】

高剛性マシニングセンタを導入し 高能率切削加工技術を確立

高い技術力を持ちながら生産性とコスト面に課題を抱えていた同社。新たに導入したマシニングセンタによって短納期化、コストダウンを実現し、大手メーカーからの受注を獲得しました。



代表取締役

谷山 誠

たにやま まこと

短納期化とコストダウンで
他社との差別化を実現

自動車製造装置部品など産業機械用金属製品を製造する同社。新たな分野への販路拡大を目論んで取り入れた3次元測定器による高精度の製品形状測定サービスをきっかけに、精密測定機器の大手メーカーと取引する機会を得ることができました。

「当社製品の品質に満足していただき、取引の申し入れを頂戴したのですが、既存の製造工程では要求される納期はなんとかクリアできたものの、コストを20%もオーバーしてしまい、受注条件を満たすことができませんでした」

当時、製品加工を既存のNCフライスで行っていた同社は、コストダウンとさらなる納期短縮を目指して、高剛性マシニングセンタを導入します。

「新

たなマシニングセンタによって高能率切削加工技術を確立することができました。これによって課題だった納期もコストもクリアすることができ、受注を獲得することができました。さらに大きかったのが、それまで2人で3台の機械を操作していたのが、1人で2台の機械を担当できるようになったことです。効率面、コスト面での好影響はもちろんのこと、担当オペレーターが自ら考え、判断する必要に駆られたことで、図面を見る視野が広がり、スキルアップにつながったんです。

お客さまが求める品質はどんどん上がっているのので、しっかりと対応して行けるよう品質も効率もさらに上げていきたいと思っています」

ものづくり
補助金活用
ココが
ポイント！



製造時間が約58%短縮

製品1つあたり4.5時間かかっていた加工時間が1.9時間に短縮。工具交換が自動になり交換時間がほぼ不要になったことからリードタイムが大幅に短縮し、受注競争力が強化されました。



チタンなど難削材部品の加工も可能。

工具交換も自動化され、掛かる時間が30分の1に。



どんな複雑な加工にも対応する。



1人で2台の機械を担当するようになったことが従業員の成長にもつながった。

ものづくりへの想い

ただ形づくりだけがものづくりではありません。どうやってつくるのかまで考えて、必要であれば形にするための道具から製作する。そうやって図面を実現させるのがものづくりの楽しさであり、やりがいです。

今後の展望

機械は揃ったので、つぎはどんな仕事にも対応できるように人を育てていきます。そうすることでさらに生産性を上げていきたい。機械を入れたことで効率は上がりましたが、あくまでも人がいるの機械ですからね。

case
05

金属製品製造業

有限会社 谷山機械製作所

設立：1986年

代表取締役：谷山 誠

資本金：300万円

従業員：7名

事業内容：自動車製造装置部品・

半導体製造装置部品・商品機械装置等の製造

〒880-0301 宮崎県宮崎市佐土原町

上田島4446番地1

TEL.0985-74-3906

FAX.0985-74-3907

